

網張温泉—岩手で最も古い温泉

岩手で最も古いと言われる網張温泉は、8世紀初期という遠い昔に発見されたとされています。岩手山の南麓の標高750メートルに位置するこの温泉の湯は、犬倉山という近くの火山の地熱で温められています。江戸時代（1603-1868）の間、雫石川地域の山神の信奉者たちは、人々にこの温泉での入浴を禁じており、この地域は網で閉じられていました。「網」は「net」を、「張」は「stretch」を意味する網張温泉の名前は、このことに由来しています。

網張温泉の露天風呂：仙女の湯

仙女の湯は、休暇村からの遊歩道沿いにある亀滝の隣に位置する露天風呂です。源泉が近いのでお湯は非常に熱いですが、冷たい川の水を取り込むことによって、より快適な温度に調整できます。お湯につかりながら、春の鮮やかな緑から秋の鮮やかな紅葉まで、季節の風景を楽しむことができます。冬の間は大雪が降るため、仙女の湯は営業していません。